

3月市議会始まる

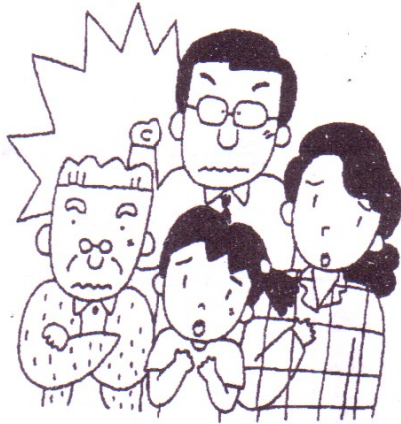
3/2~3/29

平成17年度 予算案が発表

「合併すれば財政はもつ」と合併前に説明していたこととは大違い!

「合併協」が示した新市の財政計画と比べると、交付税が31億4千万円減るなど、歳入全体で、78億円も少ないもので、これではゴマカシだったと言われてもしかたがありません。市は「三位一体改革」を理由にしていますが、国に対して言うべきことを何一つ言わずに、「歳入に合わせる歳出を決定せざるを得ない状況」と説明しました。その結果、くらし・福祉・教育など、のきなみ住民に痛みを押しつける予算となり「行財政改革を全般にわたり速やかに実行していく」として、

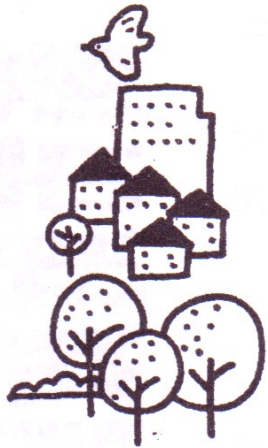
市民局のスリム化を図るなど、市民サービスをいっそう切りすてる方向を明らかにしました。その一方で、静御前公園整備に5千万、八丁浜シーサイドパークに1億円など相変わらずのムダづかい財政となっています。



子ども医療費無料化予算の約90%を減額補正?

昨年、9月議会でも5千万円が予算化されましたが、受診者数の30%しか申請がなかったことを理由として説明しました。

日本共産党市会議員団は、当初から申請による還付制度では、手続きに手間がかかり、利用しにくい制度であることを指摘してきました。その結果が現れたわけで、引き続き改善に力をつくすことも、高校までの無料化実現に頑張ります。



福田川ダム建設中止に伴い、旧3町（網野、峰山、丹後）の

水道をつないでまかなうって、水（飲料水）は大丈夫?

平林市議の、「水量は足りるのか」との質問に、市は「給水人口も検討した結果、充分足りる」と答えました。住民からは大きな不安が広がっています。

ぜひ議会傍聴におこしく下さい

代表質問 11(金) 松田 せいけい市議 合併に伴う地域の現状、行財政改革、17年度予算について
一般質問 15(火) 16(水) 党議員の質問は15日午後の予定
平林ちえみ市議…男女平等と女性の地位向上など
森 まさる市議…自治会と行政の関係、教育と自治会についてなど

日本共産党 2005年3月10日発行

市会議員団ニュース